
2022 年春

有機農産物の生産行程管理者、小分け業者

基本

2022 年春オンライン講習会開催要項

農林水産省登録認証機関登録第 17 号

特定非営利活動法人日本有機農業生産団体中央会

期日 2022 年 3 月 24 日（木）、25 日（金）

（2 日間で 1 セットです。2 日間の参加が必要です）

会場 オンライン

定員 7 人/枠

一、参加について

●オンラインのため必要になる機材

- ① パソコン
- ② インターネット接続が可能な設定及び映像伝送が可能な通信速度をもった回線接続（インターネットの自由な閲覧が可能であれば可能）。通信料金は、ご自身でご負担をお願いします。
- ③ 電子メール
- ④ マイク、スピーカー、カメラ。いずれも PC 内臓でも外部接続でも良い。
- ⑤ ファックス（演習の提出用にファックスを使用します）

●参加の方法

V-CUBEmeeting 5 というテレビ会議システムを使用します。電子メールアドレスを記載した参加申し込み書を提出いただき、受付が終わりますと電子メールアドレスに参加方法の案内を送ります。

それにしたがって、参加をいただきます。

●定員について

定員は 7 人/枠となります。これは、参加する方のパソコンの枠となります。1 台の PC で多人数参加できるテレビ会議システムなどをお持ちの団体の場合、1 枠で複数人数参加することができます。あるいは、大きなテレビモニターにつないで複数で参加することもできます。

そうしたシステムをお持ちでない場合は、お一人 1 台の PC で参加をお願いします。

●テキストの送付

受講するみなさんへのテキストは、1 月 21 日発送を予定しています。

●接続試験

2022年春 有機農産物の生産行程管理者、小分け業者等の講習会

申し込みをいただいた方には、あらかじめ接続試験を実施します。1週間前の21日の午後4時30分予定します。

二、 プログラム

<3月24日> (木)

受付開始 午前10時 (この時間よりオンライン上の会議室に入ることができます)

開会 午前10時15分

ガイダンス・テキストの説明 午前10時15分から10時30分

1、有機認証制度とJAS法の決めていること及び認証要求事項

午前10時30分から正午

昼食休憩 正午から午後1時

演習 理解度確認 有機認証制度について

午後1時から1時30分

2. 農産物の表示について

午後1時30分から午後2時30分

演習 表示の作成

午後2時30分から午後3時

休憩 10分

4. 有機農産物の日本農林規格解説

午後3時10分から午後4時40分

有機中央会 事務局

休憩 10分

5. 有機農産物生産に使用できる肥料及び土壌改良資材について

午後4時50分から5時50分

演習 有機農産物JAS規格の理解

5時50分から6時20分

*演習を提出して初日終了

初日終了

<3月25日(金)>

午前8時50分開場

午前9時開始

6. 演習の講評と正しい理解の確認

午前9時から9時30分

7. 有機農産物についての生産行程管理者の認証の技術的基準

午前9時30分から10時50分

休憩 10分

8. 小分け業の認証の技術的基準

午前11時から正午

昼食休憩 正午から12時50分

9. 演習

技術的基準の理解(演習と講評)

12時50分から13時40分

10. 有機栽培技術の特別講義①

有機栽培作物の生育・品質特性と有機物施用の基本

① 有機栽培作物の生育の基本

② 有機栽培作物の品質特性

③ 有機物施用の基本

④ たい肥の土壌物理的效果

元筑波大学農林工学系教授 西尾道德氏(有機中央会 顧問)

午後1時50分から午後3時50分(途中休憩含む)

休憩 10分

11. 有機栽培技術の特別講義②

緑肥の活用の最新情報

(緑肥が持つ線虫害の抑制効果の利用、環境保全、土壌の物理性化学性の改善効果の利用、土壌病害抑止効果などについて、実践的活用方法を語る)

2022 年春 有機農産物の生産行程管理者、小分け業者等の講習会

午後 4 時から午後 5 時

講師要請中

1 2. まとめ

レポート課題の説明・閉会

午後 5 時から 5 時 10 分

午後 5 時終了

*講師の都合で、多少の時間変更、講義の順番、一部内容の変更等があります。

*講義以外に予定している情報提供

①天敵及び生物農薬製剤

②性フェロモン剤

以上

2022年3月24日(木)及び3月25日(金)
有機農産物の生産行程管理者及び小分け業者：基本：オンライン

参加申込書

1、参加者（受講修了書の関係がありますので、お一人一枚。）

氏名	
住所	
所属団体名、会社名	
電話	
ファクシミリ	
電子メール	

2、業務の区分（該当項目を○で囲む）

有機農産物の生産行程管理者（認証取得済み） 有機栽培生産者（認証これから）
特別栽培生産者 青果物卸業 青果物販売業 米販売業 肥料販売業
その他

3、参加の区分（いずれかに○）

基本（2日間）参加 栽培技術の項など部分受講

4. 受講費用

次頁に掲載

支払い金額 _____ 円

5. 申し込み方法

①参加申込書に必要事項を記載し、ファックスもしくは電子メールで申し込んでください。

②締切りは、2022年3月18日です。ただし、定員になりしだい締切ります。

③費用は、下記にお振込みでお願いします。受講申し込み1週間以内程度の間にお振り込みをお願いします。振り込み費用はご負担をお願いします。

④宿泊、食事などは、ご自分で手配をお願いします。費用には、含んでいません。

⑤団体の方は、団体で取りまとめていただくと幸いです。

申し込み先

ファックス 03 - 5812 - 7370 電子メール

jimukyoku@yu-ki.or.jp

2022年春 有機農産物の生産行程管理者、小分け業者等の講習会

受講費用振込み先

<郵便局> 00140-8-144381 日本有機農業生産団体中央会

<銀行> 三菱東京UFJ銀行 秋葉原支店 普通口座 5020304

特定非営利活動法人日本有機農業生産団体中央会 理事 齋藤修

受講費用

●基本

区分		受講費用
基本	会員	20,350
	非会員	27,269

*受講費用には消費税 10%が含まれます。

*この費用は有機中央会の講習会規程にもとづく全国統一の費用です。

*宿泊、食事等の費用は含みませんので、各自ご手配ください。

*オンラインのための通信費は、ご自身で負担をお願いします。

●部分受講費用

(部分受講は受講修了証の発行対象になりません)

区分		受講費用
1 日分	会員	10,450
	非会員	14,003
半日分	会員	5,225
	非会員	7,002

*受講費用には消費税 10%が含まれます。

*この費用は有機中央会の講習会規程にもとづく全国統一の費用です。

*宿泊、食事等の費用は含みませんので、各自ご手配ください。

以上